

13 主な異常と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。また、対処方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

⚠ 警告 部品交換を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス

修理課（東日本）

千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 050-1780-4164

修理課（西日本）

大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
電源スイッチを ON にしてもディスプレイに表示されない	電源コンセントに電気が来ていますか？	作業場の電源に電気が来るようにしてください。
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグを確実にコンセントへ差し込んでください。
	電源プラグまたは電源コードが破損していませんか？	電源コードまたは電源プラグを交換してください。
	電源コードのソケットは確実に電源コード接続用インレットに接続されていますか？	電源コードのソケットを確実に電源コード接続用インレットへ接続してください。
	-----	上記内容を確認しても改善されない場合は電源スイッチ内部の FUSE が切れている可能性があるため交換が必要です。
フットスイッチを押しても圧着レバーが降らない（ピッという音がしない）	フットスイッチのコネクタが確実に本体側のコネクタに接続されていますか？	フットスイッチのコネクタを本体側のコネクタに確実に接続してください。
	-----	フットスイッチの故障が考えられますのでフットスイッチを交換してください。
ヒーターが折れる ヒーターが切れる	シール部に異物を挟んでシールしていませんか？	シール部には包材以外を挟まないように注意してください。
	加熱温度を上げすぎていませんか？	シールができる最低の加熱温度に設定してください。
	冷却温度の設定が高すぎませんか？	冷却温度を低めに設定してください。
	センタードライテープが傷んでいませんか？	センタードライテープを取り替えてください。
	電極が破損していませんか？	電極を交換してください。

このような時は	ここを確認してください	対処方法
シールがきれいにできない	シール部に異物を挟んでシールしていませんか？	シール部には包材以外を挟まないように注意してください。
	ヒーターが折れたり、傷んでいませんか？	ヒーターを交換してください。
	センタードライテープ、ガラステープやシリコンゴム（白）が傷んでいませんか？	センタードライテープ、ガラステープやシリコンゴム（白）を取り替えてください。
	冷却温度の設定が高すぎませんか？	冷却温度を低めに設定してください。
	袋（フィルム）の厚みに応じた圧力設定になっていますか？	圧力調整ナットの調整を行ってください。
シールの仕上がり状態が左右で異なる（片方だけが溶けるなど）	シリコンゴム（白）の片側だけが消耗し、へこんでいませんか？	シリコンゴム（白）を交換してください。
シール後、一部袋（フィルム）がとける、または穴があく	袋（フィルム）がとけるまたは、穴があく部分のシリコンゴム、ヒーター、ヒーター下のガラステープにへこみがありませんか？	へこみがある消耗品を全て交換してください。
電源スイッチが自動的に OFF になる	当製品の電源スイッチは、ヒーター電流を監視する安全回路を内蔵しており、過電流や一定時間以上流れ続けると異常と判断し、自動的に電源スイッチが OFF になります。 電源スイッチを ON 状態でコンセントに差し込むと電源スイッチが自動で OFF になりますが、安全性を配慮した機能であり、故障ではありません。	電源スイッチを OFF にしてから電源コードを接続してください。 電源を入れ直しても、繰り返し自動的に OFF になる場合は、製品内部の異常の可能性ありますので、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
シール時の音が大きくなった	ショックキラーの頭部分を軽く押して抵抗があるかないか確認してください。	軽く押して抵抗がない場合ショックキラーの故障が考えられます。「11-8 ショックキラーの交換」（→ P.42）を参照して、ショックキラーの交換を行ってください。
圧着レバーの下がるスピードが急に早くなった		
シールに縦筋が入る	-----	使用されるうちにセンタードライテープに縦筋が入り、シールにも縦筋の跡が入る場合があります。シールの縦筋の跡はシール不良ではありませんので、そのまま使用されても問題はありません。 縦筋の発生原因は、滅菌バッグの両端部分で熱の伝わりが異なることと、センタードライテープのフッ素樹脂の温度差による収縮具合の違いによるものです。

14 エラー表示がでた場合の確認事項と対処方法

エラー表示	ここを確認してください	対処方法
ERROR 0101 Microswitch ON	圧着レバーが降りる前にマイクロスイッチが ON の状態だった場合に表示されます。	マイクロスイッチの故障が考えられますので交換が必要です。 ・※「11-9 マイクロスイッチの交換」(→ P.43) に記載の方法を参照して、マイクロスイッチを交換してください。 ・お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 0102 Microswitch ON	シール終了後もマイクロスイッチが ON の状態のままだった場合に表示されます。	
ERROR 0201 Microswitch OFF	シール中にマイクロスイッチが OFF になった場合に表示されます。 →袋の厚みに応じた適切なシール圧力に調整されていますか？ →使用範囲外の厚みの袋をシールしていませんか？	「9-1 シール圧力調整」(→ P.34) を参照して、圧力調整を行ってください。 ※圧力調整を行ってもエラーが表示される場合、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。
ERROR 0301 Heating time up	一定時間経過しても設定温度に到達しない場合に表示されます。 →タコ足配線していませんか？ →延長コードを使用していませんか？ →正規のヒーターを使用されていますか？	・タコ足配線をやめてください。 ・コンセントに直接電源コードを差し込んでください。 ・弊社指定のヒーターに交換してください。
ERROR 0501 Poor cooling	冷却中に温度上昇を検知した場合表示されます。	袋を挟まないでシール作業をしてください。それでもエラーが発生する場合は、コントロールユニットの故障が考えられます。 ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 0601 Poor heating	加熱中にヒーターの温度上昇を検知できないと表示されます。 →温度センサーのコネクタが外れていませんか？ →ヒーターが断線していませんか？	温度センサーのコネクタを確実に取り付けてください。 ヒーターを交換してください。 ※それでも改善しない場合、温度センサーの故障が原因ですので、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 0801 Sensor error	加熱中に温度センサーの出力異常を検知した場合に表示されます。	温度センサーのコネクタを確実に取り付けてください。 ※症状が改善されない場合、温度センサーの故障が原因ですので、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 0802 Sensor error	加熱開始前に温度センサーの出力異常を検知した場合に表示されます。	

エラー表示	ここを確認してください	対処方法
ERROR 0901 Lever time up	シール作業を開始してからレバー降下を検知できない場合に表示されます。 →袋の厚みに応じた適切なシール圧力に調整されていますか？ →使用範囲外の厚みの袋をシールしていませんか？ →圧力調整ナットを締め忘れていませんか？	「9-1 シール圧力調整」(→ P.34)を参照して、圧力調整を行ってください。圧力調整を行ってもエラーが表示される場合、マイクロスイッチの故障が考えられますので交換が必要です。 ・※「11-9 マイクロスイッチの交換」(→ P.43)に記載の方法を参照して、マイクロスイッチを交換してください。 ・お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 1101 H: *** C->M: *** C	監視温度が上限温度より高い場合に表示されます。	・シール部の中央に包材がくるようにシールしてください。 ・センタードライテープなどの消耗品が汚れたり傷んでいる場合は交換してください。 ・温度センサーのコネクタが確実に接続されていることを確認してください。
ERROR 1102 H: *** C->M: *** C	監視温度が下限温度より低い場合に表示されます。	・包材を挟まずにシールをしてもエラーが表示される場合、温度センサーの交換が必要です。お買い上げの販売店または弊社修理課までお問合せください。
ERROR 1103 High temperature	シール開始前に監視温度センサー出力が異常に高い温度を検知した場合に表示されます。	監視用温度センサーの交換が必要です。
ERROR 1104 Temp anomaly	シール加熱中に監視温度センサー出力が異常に高い温度を検知した場合に表示されます。	※お買い上げの販売店または弊社修理課までお問合せください
ERROR 1201 P: * . ** -> * . ** MPa	シール中の監視圧力が圧力下限値を下回ると表示されます。 →圧力調整ナットや圧着ゴムが正しくセットされていますか？ →適切なシール圧力調整が設定されていますか？ →圧着ゴムが消耗していませんか？ →圧力下限値設定は適切な値に設定されていますか？	・「9-1 シール圧力調整」(→ P.34)を参照して、圧力調整を行ってください。 ・「11-7 圧着ゴムの確認」(→ P.42)を参照してください。 ・圧力下限値を適切な値に設定してください。
ERROR 1202 Over load	シール中に圧力センサーの過負荷を検出した場合に表示されます。 →圧力を下げてシールをしてください。	圧力を下げてもエラーが発生する場合は、圧力校正もしくは圧力センサーの交換が必要です。 ※お買い上げの販売店または弊社修理課までお問合せください。
ERROR 1204 No load	シール中に圧力が異常値を示した場合に表示されます。	圧力センサーの交換が必要です。 ※お買い上げの販売店または弊社修理課までお問合せください。

エラー表示	ここを確認してください	対処方法
ERROR 1301 T: *.*s-> *.*s	監視保持時間が加熱保持時間より 0.3 秒以上長い時表示されます。	コントロールユニットの故障が考えられます。
ERROR 1302 T: *.*s-> *.*s	監視保持時間が加熱保持時間より 0.3 秒以上短い時表示します。	※お買い上げの販売店または弊社修理課までお問合せください。
ERROR 1401 T: *.*s-> *.*s	加熱温度が監視温度の上限下限の範囲内である時間の合計が設定保持時間より短い時に表示されます。	・シール部の中央に包材がくるようにシールしてください。 ・センタードライテープなどの消耗品が汚れたり傷んでいる場合は交換してください。 ・包材を挟まずにシールをしてもエラーが表示される場合、温度センサーの交換が必要です。お買い上げの販売店または弊社修理課までお問合せください。
ERROR 3000 ~ 3030 Communication	-----	何度も表示される場合、コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です。 ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 3101、3102	PC アプリとの通信エラーです。 → PC アプリと通信接続できていますか？ → USB ケーブルは確実に接続されていますか？ → USB ケーブルは破損していませんか？	・PC アプリの COM ポート設定メニューで再接続を行ってください。 ・パソコンで他のソフトの処理が重なっている場合、ソフトを停止するか処理が落ち着くまで待ってから作業を行ってください。
ERROR 4000	-----	何度も表示される場合、コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です。 ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください。
ERROR 9000 Clock IC error	電池を交換した際など、時刻が正しく設定されていない場合に表示されます。	ENTER キーを押すとエラー表示が解除されます。日付と時刻を再設定してください。
ERROR 9001 BATTERY error	内部時計のバックアップ用電池の電圧が低下しています。	電池交換が必要です。

対処方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

● エラー解除方法

・管理者 ID が登録されていない場合

電源を入れ直すことでエラーが解除されます。

・管理者 ID が登録されている場合

管理者 ID および作業者 ID が登録されていて、作業者 ID でログイン中にエラーが発生した場合、エラーを解除できるのは管理者のみとなります。

